

## 「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン(明石市一般廃棄物処理基本計画)」素案に対する意見募集結果

「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン(明石市一般廃棄物処理基本計画)」素案に対する意見募集(平成28(2016)年2月15日～平成28(2016)年3月15日実施)を行ったところ、23件(13名)からの意見の提出をいただきました。ご意見の概要とそれに対する市の考え方は次の通りです。

なお、提出いただいたご意見は、趣旨を損なわないよう要約しています。

番号	概要版ページ	素案ページ	意見の概要	市の考え方
1	3頁 7頁	18頁 70頁	目標1. ごみ処理量の削減において、平成26(2014)年度「市ごみ処理量」と、概要版図5の実績数値との差異の理由を教示ください。	目標1. 「市ごみ処理量」は、燃やせるごみ量に燃やせないごみ量等が合算されており、概要版図5にお示しした「焼却処理量」は燃やせるごみとなっています。
2	3頁 7頁	14頁 70頁	目標1. ごみ処理量の削減において、平成26(2014)年度「家庭系燃やせるごみ一人一日あたり排出量」と、概要版図4の実績数値との差異の理由を教示ください。	目標1. 「家庭系ごみ一人一日あたり排出量」は、家庭系の燃やせるごみ量に燃やせないごみ量等が合算されており、概要版図4にお示しした「家庭系燃やせるごみ一人一日あたり排出量」は燃やせるごみのみとなっています。
3	9頁	79頁	「食品ロス削減のための方策の普及啓発を図ります」の具体的な手法と評価方法は？	具体的な手法としましては、出前講座やごみ減量推進員・協力員研修会などの啓発活動を中心に進めて行くことを考えています。 評価方法としましては、年に2回実施している「組成分析調査」により、普及状況の把握が可能であると考えています。
4	10頁 ～ 11頁	61頁 87頁	プラ容器(透明)を回収してほしい。ペットボトルのキャップの店頭回収も検討してほしい。	事業者により積極的に取り組まれている店頭回収は、容器包装を含む多様な資源回収ルートの一つとなっています。 新たな分別品目の導入や、事業者等と協働した取り組みにつきましては、今後のごみ減量やリサイクル状況を踏まえつつ、費用対効果を十分に考慮しながら検討していきたいと考えています。
5	7頁	70頁	ごみの削減量は空論ではないか？	ごみの発生抑制としましては、家庭系指定袋製の導入、食品ロス(手付かず食品・食べ残し等)の削減、生ごみ堆肥化(段ボールコンポスト)の普及啓発、紙類の資源化の促進、事業系ごみ処理手数料の適正化などを主に取り組みたいと考えています。 また、ごみの資源化としましては、家庭系指定袋製の導入、焼却灰の資源化の推進を主に取り組みたいと考えています。 なお、主な取り組みの目標年度における1人1日あたりの削減推計値につきましては、本計画素案(本編)の72～73ページをご参照ください。

番号	概要版ページ	素案ページ	意見の概要	市の考え方
6	2頁～4頁	13頁～19頁	概要版P.2～P.4で記載されている実績値のグラフの説明において、「減少傾向を辿る」とか「低下傾向を辿る」とあるが、どうして減少・低下したか要因分析結果の説明がない。	<p>家庭系ごみが減少・低下している要因としては、現計画の推進項目を実施したことの効果が少しずつ現れていると考えています。</p> <p>事業系ごみと産業廃棄物の増減は景気の影響を受けているものと考えています。</p> <p>資源化量は低下傾向となっております。これは、スマートフォン等の普及により情報の取得手段が大きく変化し、新聞や雑誌等のペーパーレス化（電子化）が進んだことが主な要因であると考えられます。</p> <p>最終処分量は、ほぼ横ばいとなっております。これは家庭系ごみが減少傾向、事業系ごみが増加傾向のため、最終処分量が、ほぼ横ばいになっていると考えています。</p>
7	9頁	79頁	高齢になると、食品ロスに関し減量は難しい。	<p>市民が家庭で取り組むことのできる食品ロスを削減するための方策（食材の使い切り、過度な鮮度志向の抑制等）について、普及啓発を図りたいと考えています。</p> <p>市民の皆さまのご協力をお願いいたします。</p>
8	9頁	78頁	指定袋の導入を早急に実施してほしい。	<p>ごみの減量につきましては、市民の環境（ごみ問題等）に対する意識の向上が必要であるとと考えています。</p>
9	9頁	78頁	指定袋から剪定枝を除外してほしい。また燃やせないごみも指定袋にするのは意味がないと考えます。意味のある施策を実施してください。	<p>指定袋制の導入により市民の分別意識等を高め、ごみの減量化・再資源化につながるものと考えており、出前講座や研修会などにおきまして、導入目的など丁寧な説明で理解を求めながら、取り組みを進めているところです。指定袋制導入の際は、他都市の導入状況、市民の皆様のご要望等を踏まえながら、ごみ袋の規格・種類等を定め、進めていきたいと考えています。</p>
10	8頁	80頁	ごみ袋有料化の導入には、ごみ排出量の目標値を市民に示し、達成できなかったときに導入すべき。	<p>また、本計画における推進項目を実施したうえで、更なるごみの減量化やごみ処理経費の負担の公平化などが必要となる場合には、指定袋の価格にごみ処理経費を上乗せした有料化についても検討していきたいと考えています。</p>
11	8頁	77頁	他都市の一部では剪定枝をチップ化している例があるが市はどう考えているのか？	<p>新たなリサイクルの取り組みについては、設備投資等が必要となることが考えられますので、費用対効果を踏まえ検討していきたいと考えています。</p>
12	8頁	81頁～82頁	市として、集団回収における買取価格を統一することはできないか？	<p>市は、回収業者の公正かつ自由な競争を促進し、市場のメカニズムを十分に発揮し得るようにしていくことが重要であると考えています。よって、契約単価は、集団回収活動団体と回収業者との契約により定めるものであるため、価格を統一することは難しいと考えています。</p>

番号	概要版ページ	素案ページ	意見の概要	市の考え方
13	8頁	83頁	市側に、市民意識を高める工夫がもっと必要ではないか？	環境講座、各種イベント及びクリーンセンター施設見学（市内の小学校4年生や団体など）の実施など、さまざまな環境学習の機会を提供することで、環境学習の推進を図ると共に、ホームページや広報誌を通じ情報提供を行っています。 今後も市民意識の向上を目指し、分別の徹底等につままして、周知徹底に努めたいと考えています。
14	8頁	83頁	抽象的な啓発広報だけでは実効力がないのでは？	
15	8頁	81頁～82頁	集団回収の拡充と団体の育成を望む。行政回収を縮小すれば集団回収に特化するのでは？	地域のコミュニティ活動の振興を図り、環境意識の向上を図る観点からも地域の集団回収を優先するもので、行政回収は、集団回収が行われていない地域など、集団回収を補完するものとなります。 また、地域のリーダーの育成や支援体制の充実のほか、市から積極的に活動未実施地域に対し団体登録を働きかけることで、地域のコミュニティーやネットワーク(情報共有や繋がり)の強化を図り、地域での取り組みの活性化を促すなど、集団回収活動の拡充に努めます。
16	8頁	83頁	意見交換会の広報が不十分である。	今回の意見交換会の広報につましましては、「広報あかし」や各自治会・町内会への回覧板などで周知しました。 今後は、更なる周知徹底を推進するため、広報期間をできるだけ長くするなど、市民の皆さまに多く参加していただけるよう広報活動に努めてまいります。
17	8頁	83頁	「パブリックコメント」より「意見公募」の方がわかりやすい。	明石市のホームページは「意見募集手続き(パブリックコメント)」という表記に統一されています。自治会宛て回覧板に関しましても、次回から表記を統一いたします。
18	8頁	80頁～81頁	ごみステーションへ出されている事業系ごみへの周知徹底をしてほしい。	家庭系ごみステーションに出されている事業系ごみについては、開封調査を実施し、事業所への指導を行っております。 引き続き、市内事業所の不適正排出防止に向けて啓発してまいります。
19	-	-	スラッジケーキ(水道から出る廃棄物)の有効利用について	浄水汚泥の利用は、全市的な有効利用の方針と整合を取りながら検討をしております。現在、浄水汚泥は適正に処分を行ない、処分した一部はセメント原料として有効利用されています。

番号	概要版ページ	素案ページ	意見の概要	市の考え方
20	8頁	79頁	段ボールコンポストなどの普及を図るべき	<p>生ごみリサイクルに関しては、環境講座において段ボールコンポストの普及に努めているところです。</p> <p>今後も、生ごみ堆肥化の取り組みとして、家庭で気軽に取り組める「段ボールコンポスト」の環境講座を開催するとともに、広報紙、ホームページ等において普及を図るための啓発を行いたいと考えています。</p>
21	8頁	83頁	<p>集団回収によるリサイクル推進に向け、チラシ配布を実施しているが、配布可能なチラシの種類が分からず不便である。</p>	<p>集団回収を実施している団体へは、年1回「集団回収活動チラシ」のサンプルを送付しています。</p> <p>これからも、啓発活動への協力を続けてまいります。</p>
22	-	-	<p>生ごみ減量に向けてディスプレイの普及を検討してはどうか？</p>	<p>ディスプレイについては、合流分流に関わらず、処理槽式、機械式のみ申請があれば認めています。が、推奨はしていません。</p> <p>処理槽式とは、シンクで切削した野菜クズを処理槽で水分と汚泥に分離し、水分のみ公共下水道(汚水)へ流します。</p> <p>機械式とは、シンクで切削した野菜クズを下部に設置した分離装置で水分と固形物に分離し、水分は公共下水道(汚水)へ流し、固形物はゴミとして出します。</p> <p>お尋ねのディスプレイは、シンクで切削した野菜クズを公共下水道(汚水)へ直接流すものと思われませんが、これについては、下水管閉塞の可能性があります。また、浄化センターの負荷増加も危惧されるため認めていません。</p>
23	8頁	77頁	<p>資源化率向上に向けて、市は常時排出可能なステーションの設置を検討してほしい。</p>	<p>資源回収ステーションを設置するには、セキュリティ面に課題があり、市が設置することは困難であると考えます。</p> <p>なお、新たなリサイクルの取り組みについては、費用対効果を十分に考慮しながら検討していきたいと考えています。</p>